

中山観光・季節のおはなし・旅便い

まだ肌寒い日が続きますが、
桃の節句も過ぎていよいよ春到来ですね！



3月は年度の変わり目ということもあり、
まわりの方から転勤になる、引っ越しをする…といった
報告を受けることも多いのではないのでしょうか。

冬から春へ…

自然の風景が刻一刻と変化していく季節をたのしみながら
過ごしたいですね。

3月号

3月

草木が芽吹き、本格的に春が始まる月

旧暦では春分の日を迎え春の始まりを告げる3月ですが、まだまだ肌寒い時期・・

ひと雨ごとに寒さはやわらぎ寒い日が3日ほど続くと、その後4日ぐらいは暖くなる

「三寒四温」を繰り返しながらどんどん暖かくなって、本格的な春へと向かっていきます。

和風月名の弥生は草木が芽吹く月で「山の食材」は旬を迎えます。

竹の子やうど、タラの芽やワラビ、ぜんまいなどが私たちの食膳を楽しませてくれます。



野遊び・磯遊びの風習

昔から日本では、農事や漁撈が繁忙期に入る前に、野山や水辺に行って春の1日を過ごす習わしがありました。

これを野遊び・山遊び、また海に近い地方では磯遊びと言いました。

現在では行楽の意味合いが強く、これが遠足や花見、潮干狩りのルーツではないか？とも言われています。

かつて「野遊び」といえば、暖かい地方では3月3日、寒い地方では旧暦4月8日の行事と重ねて行われました。

この日は仕事を休まなければならない物忌みの日とされ、各家庭ではこの日のために御馳走を作り、歌い、踊り、皆で楽しみました。また河原にかまどを築くなどして、今の芋煮会やBBQに近いことも行われていたとか？

【1日の遊びは百年の寿命をのばす】

ピクニックを楽しめる季節がやってきました。ピクニックは日本の古語では「野掛け」といい、

「1日の遊びは100年の寿命をのばす」の言葉からも分かるように、江戸時代の人たちは春秋ののどかな日に

野遊びの名所に出かけて、その日一日を有意義に楽しんでいたようです。

公園や海、キャンプ場などで自然を感じながら外で飲食するのは気持ちが良いものです。

そして手作りの食事はより一層美味しく感じます。たまにはお弁当を持って出かけたいでしょうか？



3月3日は「磯遊び・山遊び」を満喫する日

かつての「ひな祭り」は、子供や女性たちが重箱にごちそうを詰めて、海や山へ繰り出し、1日中飲んだり食べたりしながら遊ぶ日だったそうです。昔は神様は山にいますと考えられ、春になると田んぼの神様になると伝えられていました。

その神様を迎えるために、海や山に入って心身を清めたのが「磯遊び・山遊び」の始まりだとか・・？

これは古代中国の行事にも繋がる風習です。ちょうど旧暦の3月3日は大潮の頃で磯遊びにふさわしい時季でした。

この楽しみは、春の潮干狩りや山菜摘み、お花見など、現在でも継承されています。

3月の花といえば「桃」

花が咲くのは3月下旬ですが、ひな祭りは「桃の節句」といわれるほど

また、桜前線がやってくるのもこの時期で、花を待ちわび、自然と心も踊ります。

その他、日本独自の先祖を供養する「お彼岸」や歴史ある伝統行事

「東大寺のお水取り」・「薬師寺の花会式」といった伝統行事が行われるのもこの月です。

野遊びには、みんなで飲食を楽しむとともに

春1番の恵みを大いに楽しむ・・という部分もあります。

春の野山には太陽の光をいっぱい浴びた花が鮮やかに咲き誇り、

その花々を持ち帰って鑑賞しました。

又野草を摘み、食材にする風習も各地で見られます。昔の人々にとって

雪解けとともに芽を出す野草は貴重な食材で「春は苦味から」と言われるように、苦味のあるものを春に食べておくと身体に良いとされてきたのです。

現在でも春の行楽として山菜摘みあり、たらの芽・フキノトウ・うど・つくしぜんまいセリなどを摘み、天ぷらやねり味噌などの和え物にして食べたりもします。

また、野草・花摘みはどこの村でも不思議と若い男女が行っていたようです。

このことから春の野遊びは若い男女の縁を定める日でもあったのではないかと

とも言われています。



いよいよ桜の季節が到来

桜の開花が待ち遠しい季節となりましたね。

日本では古来から、厄をはらい山野へ出かける風習があったといわれています。

春は桜の開花を具合を見てその年の作柄を占ったとか。

当時は豊作を願う行事のひとつだったようです。奈良・平安時代になると

貴族たちの間で「桜」を眺めながら歌を詠むことが大流行。

江戸時代になってからは庶民に広がり、花見弁当やお酒を楽しみながら

桜見物するお花見のスタイルが始まったといわれています。

毎年、この時季になると「桜前線が北上」と聞きますが、そもそも「桜前線」って何？と

思っている方も多いことでしょう。日本各地の桜の開花予想日を南から北へと

地図上で線で結ぶと天気図の前線に見えることから「桜前線」と呼ばれるようになりました。

主にソメイヨシノの開花がその対象になっていて、気象庁が標本木としている桜に

5～6輪の花を咲かせると「開花宣言」を出すのだそうです。

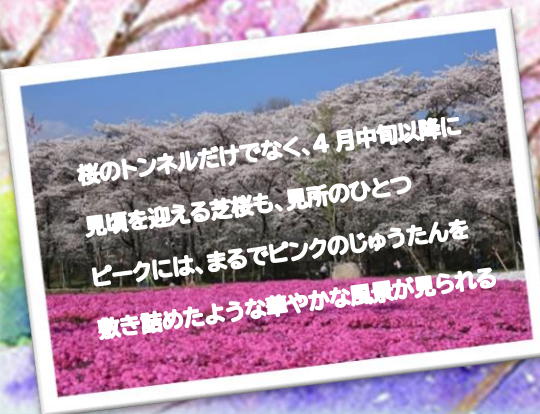
3月27日は「さくらの日」です

1992年(平成4年)に公益財団法人・日本さくらの会によって制定されました。

日本の代表的な花である桜への関心を高めることと、花と緑の豊かな国土を作ろうというのが目的。

日付は、「3×9(咲く)=27」の語呂合わせと七十二候の中の「桜始開」の時期であることから決定しました。

日本全国で桜が咲くこの記念日周辺には、全国各地で桜まつりなどのイベントが開催されています。



日本さくら名所100選！前橋「赤城南面千本桜」

群馬県前橋市苗ヶ島町の赤城南面千本桜は「さくら名所100選の地」にも選ばれている名所です

開花のシーズンは「赤城南面千本桜まつり」が開催されます。

約1.3kmの市道は、満開時にはソメイヨシノが咲き誇り、ピンク色の見事なトンネルとなります。

隣接する「みやぎ千本桜の森」を含め桜の数は約1000本！また、桜と菜の花との競演も楽しめます。

開花の時期にあわせて例年開催されるのが**赤城南面千本桜まつり**

桜の絶景が見られるだけでなく、期間中は、地元のグルメや特産品などが並ぶふれあい物産市や、

ステージパフォーマンスなど様々なお楽しみも(o^ー^o)♡

また、夜間にはライトアップもあり、昼とはまた違った桜の美しさを堪能できます。

苗ヶ島で植樹が始まったのは昭和31年

赤城山ではロープウェイの開業を翌年に控え、大スキーリゾートとして新時代の幕開けを迎えようとしていた頃のことです。

赤城温泉郷をいだし、三夜沢赤城神社が鎮座する赤城山中腹の宮城村。苗ヶ島地区では、

終戦直前に行われた油脈の探索のために木々が伐採つくられていました。

戦後まもなくのあるとき、村議員の豊島源之助さん(故人)が伊勢崎から村を見上げると、木々が伐採されて

丸裸の村に、造成中の道が白い帯のように見えたのです。そして、そこを桜で埋めたらさぞきれいだろうと考え、

ソメイヨシノの植樹を呼びかけました…とは言え、戦後まだ10年…

食料の増産をという時に桜の植樹など、と考える人もいました。

しかし、苗ヶ島を桜の名所にしようと情熱を注ぎ、ソメイヨシノの苗木の手配に奔走する源之助さんの姿に、

青年団や地域の役員たちも一丸となり、植樹がつづけられていったのです。

足掛け3年、地区から忠治温泉へと続く道の両側には1400本ものソメイヨシノが並木となり、

数年後には5センチほどの細い幹ながら、花も咲かせるようになりました。

それから半世紀を経た現在、桜は見事に枝を張り、毎年春には、道路の両側1.3kmもの範囲に桜が咲き誇る

「桜のトンネル」が出来上がり、思い思いに花見や散策を楽しむ人々に賑わうようになりました。

この桜トンネルは約10日程の長い期間楽しむことができます。

今では毎年、関東一円から多くの人々が訪れる群馬随一の桜の名所となっています。

令和7年4月5日(土)～4月20日(日)までの期間、「赤城南面千本桜まつり」

猿島阪東観音開帳～心やすらぐ春の巡礼

令和7年3月17日から4月17日までの1か月間

茨城県旧猿島地域の寺院で12年に1度の「猿島阪東観音開帳」が行われます。

観音開帳では、普段は扉が閉じられてるお堂を巳年のこの期間だけ一斉に開帳し

多くの方に観音様をお参り頂いています。

今回の御開帳は雄弁上人が最初にお開きになってから、

ちょうど300年目の年にあたり、

御開帳も前回以上に盛大に行うようです。

観音様のお座りになられている台座は

お寺の本堂や観音堂・公民館と

それぞれですがどの観音様も

300年もの間、厚い信仰のもと

地元の方々に大切に守られてきました

猿島阪東観音霊場の由来

多くの方が観音さまと縁を結んで幸せになれるようにとの願いから、今からちょうど300年前、享保10年(1725年)坂東市生子にあるお寺、萬蔵院52代住職の雄弁上人によって開かれました。

以来、遠方の霊場へ参詣できない方々のために、この北総の地に三十三カ所の霊場を設け、

12年に1度、巳年ごとに開帳されます。観音開帳の期間中は、普段閉じられている観音様のお堂を開け、そこに参拝して観音様と縁を結んでいただき、その功德を広く伝えます。

観音様は心のよいところ…

観音様は正式には観世音菩薩と言い、人々を苦しみから救いたいという一心で、人に近いところで活動することを自ら選んでいる仏様です。

すべての人々を極楽浄土へ導くため、自らの姿を変えて私たちの前に現れてくれています。

観音菩薩とは、漢字そのまま「音を観る」仏様です。

人々の「音」という、生きていの中で発せられる多種多様な声を、様々なレベルで大きく「観」ています。

あらゆる人の声を聞いて苦しみの中にいる人を見つけ、救い出そうとしているのです。

個々の声をよく聞いて、それぞれの持つ恐れや不安を取り除き、ものごとを成し遂げられるよう

助けてくれています。観音様は人々の多様な願いに応じて三十三の姿に変身されます。

さまざまな形・姿で私たちの前に現れる大変優しい心をお持ちになる仏様です。

この33という数字は多くの観音霊場の三十三カ所というお札所の由来にもなっています。



📍第27番札所。観音堂に聖観世音菩薩像が安置されています。

境内の江戸彼岸桜は齢樹約400年を誇る

坂東市天然記念物の名樹で、開帳期間中に開花・満開を迎えます。



第17番札所📍

真言宗豊山派・慈徳山萬蔵院

300年前に猿島阪東観音開帳を

お開きになった雄弁上人のお寺です



猿島阪東観音霊場の公式納経帳もあります。1冊2千円。同時に求めた案内書は100円

公式納経帳は6千冊限定です。前回の開帳では短期間で品切れになったそうです。

入手は早めの方が良いかもしれません。

各札所の対応時間は午前8時半から午後5時までとのことで、納経料は朱印のみ300円

墨書入れの場合は500円。

猿島阪東観音霊場札所会事務局 第十七番札所 萬蔵院 茨城県坂東市生子1617番地

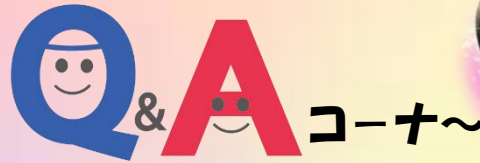
協力 坂東市観光協会 野田市観光協会・古河市観光協会 境町観光協会

Happy Wedding

ご結婚おめでとうございます

2月22日 土曜日

弊社の乗務員さんが日光二荒山神社で結婚式を挙げました。
人生の新しい門出をご家族や友人・会社の同僚・観光に訪れた人々…
多くの方々に見届けていただき、幸せいっぱいのおふたり…
どうぞ末永くお幸せに



このたびはご結婚おめでとうございます。日光二荒山神社で挙式…素敵ですね
ご結婚を祝福してちょっと新郎に質問してみました

Q 日光二荒山神社を選んだ理由を良かったら教えてください

A 2人で初めてデートをした場所が日光なのと自身が日光大好き人間だからです。

Q プロポーズの言葉は？

A ありません。妻の両親にお付き合いしている旨の挨拶に行ったら「娘をよろしく頼むよ」と言われて
あれよあれよで結婚しちゃいました(笑)

Q 奥様のどこが1番好きですか？

A 優しいところが1番ですかね～

Q 好きな手料理は？

A 好きな手料理は「全部」です！妻が作る手料理すべてが好きですね

(笑)ごちそうさます♥(◡●●>◡<●●)。◆♥

Q どんな家庭を築きたいですか

A 笑いの絶えない幸せな家庭を築きたいです

Q 理想の家族構成を教えてください

A 子供2人で4人家族がいいですかね…あとはワンちゃんがいるとサイコーです

日光までは新郎の御指名で
観光バスのいろはを教えてください
大先輩が運転しました👍



中山観光バスのpremiumで
茨城県から栃木県の日光へ

日光が大好きで
二荒山神社で挙式を挙げる夢がかなった新郎
仲睦まじいお二人で今まで以上に温かい家庭を
築いてください
これからも更なる御活躍を心より願っています

